

浄泉寺通信

第7号
 年4回発行
 浄土真宗本願寺派
 吉見布教所浄泉寺
 埼玉県比企郡吉見町
 久保田40-1
 発行責任者 福井学誠

かないことが
 あります。そ
 の逆にそれが
 何かの縁に、
 とくに逆境で

でなく、自らの修養を指しました。
 お釈迦さまの古い教えを伝える聖典
 のなかに、農夫とお釈迦さまの対話
 が出て参ります。

お釈迦さまが示された道、それは

この道を開く教えです。私たちは自
 分の姿を反省するときに、ところが
 閉ざされていたり偏見に満ちていた
 りすることが往々にしてあります。何
 かの縁でそのことに気づき、ハッ
 と目を覚まされることがあります。

「開発」という言葉で表わします。

開いて発する。古くはインドで使わ
 れ漢訳仏典に出てくる言葉です。人
 間が内に持っている尊いものを、慈
 悲のところが伸ばすことと理解でき
 るでしょう。本願寺第八代蓮如上人
 は『御文章』のなかで「信心開発」
 「宿善開発」という形で使われまし
 た。お念仏が「手段」の私の人生が、
 お念仏「そのもの」の人生に転じら
 れることです。この言葉を弘法大師
 もお使いになり、日蓮上人において
 は『開目抄』というお書物の中で、
 目を開く、この道を開く、開かれた
 ところを大切にする、それがお釈迦さ
 まの道と説いています。

しかしいくら素晴らしい教えであつ
 ても、書物を読んだり、人から教え
 を受けても、それが大して自分に響

の経験をつんだ後に、「あ、まさに
 これだったな」と思つて気付かされ
 ることがあります。それは抽象的な
 知識で開かれたのではなく、自分の
 経験に照らしてハッと気づかされた
 わけですから、実践的な認識と言え
 ます。私たちの先人はそれを「お育
 て」と言ったり、「育てられている」
 という言い方をし、そのようにし
 て気付
 かされ
 ること
 を大切
 にして

それは「開かれたところ」

いました。目覚めや気づきが自らの
 仕事でなく、慈悲のところが開いて
 くださることを、慈父と慈母が子ど
 もを育てたことと似た表現です。

私事ですが年末に所要があつて山
 梨県の河口湖畔へ行きました折、運
 転して通りかかった小学校で標語を
 目にしました。「いいちえ いいあ
 せ いいところ」。良い知恵と汗の
 もとに心が結ばれるという教えは、
 修行のイメージと重なり、仏教的だ
 と感じました。修行はお釈迦さまの
 時代、身体を痛めつけ苦しめるもの

でなく、自らの修養を指しました。
 お釈迦さまの古い教えを伝える聖典
 のなかに、農夫とお釈迦さまの対話
 が出て参ります。

私にとつては、信仰が種子である。
 修行が雨である。
 智慧がわが軛と鋤とである。
 努力がわが軛をかけた牛であり、
 安穩の境地に運んでくれる。
 この耕作はこのようになされ、
 甘露の果実をもたらす。
 この耕作を行ったならば、
 あらゆる苦悩から解放される。

静かに穏やかに、ただそつと受け入
 れるものです。私たちは真理に対し
 てこの道を開く、それが修行になり
 ます。さらに慚愧という言葉で知ら
 れる慚、つまり自分に対する恥じら
 いが伴わなければならないと仏教の
 教義学では教えます。孔子さまのお
 言葉に「われ日に三度省みる」
 (『論語』)とありますように、善
 行とは「人の為になつていから善
 いことである」というお仕着せでな
 く、立場が変われば善行も悪行にな
 りうるという自主点検が必要です。
 そして真理と修行のもとに訪れる、
 苦悩から解放された状態を解脱や
 悟りと言いますが、面白いことにイ
 ンドの単語では複数形で使われてい
 ます。解脱を得る、悟りを開くこと
 は人生に一度しかないとするのでは
 なく、複数回ある。つまり人生のう
 ちで瞬間瞬間に何度となく訪れるも
 のであるという考え方がインドでさ
 れていたので。二里行けば二里
 の悟り、二里行けば二里の悟りと
 聞いたことがあります。一度悟りを
 開いたらもう後はその境地から退く
 ことはない、何してもいいんだとい
 うことではなく、むしろ一日一日本当
 の道を実践する、瞬間瞬間にこれだ
 いいのかしらと反省しながら、道を
 求めていく、そこに本当の宗教の生
 命があるのでしよう。(住職)

築地本願寺 「初参式」へ 行ってきました!

子どもたちの初参りに築地本願寺(東京・中央区)へ行ってきました。築地本願寺は親鸞聖



人七百五十回大遠忌記念に、本堂ご修復工事が完成したばかりです。子どもたちの成長を願って本堂でお焼香し、記念撮影いたしました。3歳になる娘の環は、保育園でたくさんのお友達ができました。生後3ヶ月になる息子の瑞は、風邪もひかず順調に成長し、少し笑うようになりました。坊守の桂は産休でしばらく休んでいたヨガサークルの指導を再開し、埼玉県内寺院の坊守研修会に出席するなど仏教の勉強を少しずつ始めています。住職は財団法人仏教情報センターの電話相談員としても活動しています。家族一同、本年もどうぞよろしくお願ひします。

浄泉寺ではコーラス会員を募集しています。会では京都・西本願寺で仏教讃歌を歌うことを目標にしています。仏教讃歌はキリスト教の讚美歌

浄泉寺コーラス会員募集中!

やゴスペルに同じく、文字通り仏さまのお徳を讃える歌詞、そして混声合唱で作曲されています。会では音楽家の手塚久美子さんにご指導をいただき、浄泉寺を会場に不定期で練習をし

ています。西本願寺では毎年4月と11月の年二回、阿弥陀堂で合唱大会を開催するほど合唱に力を入れており、浄泉寺では毎年は難しいのですが、数年

に一度、京都の大谷本廟や有名な仏跡への参拝も兼ねて、合唱旅行の計画も進めております。歌に自信がない、お経が苦手という方でもお気軽にご参加ください。心よりお待ちしております。

「浄泉寺の今後の活動」

- 1月1日(土) 8時 元日会
- 浄泉寺本堂
- 1月7日(月) 17時 (毎週開催) 子ども素読塾
- まちカフェ (東武東上線東松山駅前)
- 1月9日(水) 14時半 (毎週開催) 気軽な、温泉法話
- おがわ温泉花和楽の湯 (東武東上線小川町駅前)
- 1月12日(土) 13時 常例布教出講
- 敬西寺 (群馬県高崎市)
- 1月18日(金) 19時 (毎月開催) はじめての歎異抄講座 (第14回、参加無料)
- フレサよしみ (埼玉県吉見町)
- 1月22日(火) 9時15分 ヨガサークルアムリタ
- フレサよしみ
- 1月28日(月) 14時 常例布教出講
- 最勝寺 (埼玉県さいたま市)
- 1月29日(火) 9時15分 ヨガサークルアムリタ
- フレサよしみ
- 1月31日(木) 9時半 豊て和みヨガ
- 岡田本店 (本川越駅前)
- 2月9日(土) 13時 常例布教出講
- 正福寺 (埼玉県新座市)
- 2月15日(金) 14時 涅槃会布教出講
- 築地本願寺和田堀廟所 (杉並区明大前駅前)
- 2月15日(金) 19時 はじめての歎異抄講座第15回
- フレサよしみ
- 3月9日(土) 13時 常例布教出講
- 正福寺 (埼玉県新座市)
- 3月15日(金) 19時 はじめての歎異抄講座第16回
- フレサよしみ

■坊守は産休でしばらくお休みを頂いておりましたが、ヨガ指導を今月から再開。浄泉寺コーラスの練習日程は後日ご連絡いたします。昨年好評でしたわくわく子ども会と花まつりを、4月7日(日)に予定しています。今度も腹話術の方をお招きしています。詳しくは、お寺まで。TEL 0493-548800